

# 宮城県感染症発生動向調査情報

平成28年7月21日発行

— 2016.7.11 ~ 2016.7.17—第28週—

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第25週	第26週	第27週	第28週
水痘	8 1.60	1 0.10	1 0.20	6 3.00	1 0.33	1 0.20	1 0.50	26 0.96	45 0.76	907	○	○	○	○
流行性耳下腺炎	21 4.20			1 0.50	2 0.67			14 0.52	38 0.64	664	○	レ	○	○
百日咳									0 0.00	9				
感染性胃腸炎	46 9.20	35 3.50	22 4.40	4 2.00	16 5.33	13 2.60		116 4.30	252 4.27	10,645	◎	◎	◎	◎
手足口病		7 0.70	3 0.60					26 0.96	36 0.61	98				○
伝染性紅斑	2 0.4	1 0.10	1 0.20			3 0.60		6 0.22	13 0.22	280				
突発性発しん	2 0.40	3 0.30	7 1.40	1 0.50	2 0.67	7 1.40	1 0.50	14 0.52	37 0.63	886	○	○	○	○
ヘルパンギーナ		38 3.80	1 0.20		2 0.67	3 0.60		42 1.56	86 1.46	229			○	◎
インフルエンザ	2 0.25	1 0.07				1 0.13	1 1.00	1 0.02	5 0.05	28,053				
咽頭結膜熱		3 0.30		1 0.50	1 0.33	6 1.20	1 0.50	17 0.63	29 0.49	571	○	○	○	○
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.17	2 0.17	73				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16 3.20	24 2.40	8 1.60	1 0.50	4 1.33	38 7.60		90 3.33	181 3.07	6,590	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	6				
無菌性髄膜炎									0 0.00	4				
マイコプラズマ肺炎			3 3.00		1 1.00	1 1.00	1 1.00	4 0.80	10 0.83	201				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症						2 0.40		9 0.33	11 0.19	288				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								1 0.20	1 0.08	13				
拡張疾病														
マイコプラズマ肺炎(小児科)	9	3	5				2	1	8					
川崎病	1													
不明発疹症														

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○: 発生または流行について、今後の情報に留意  
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

- 石巻管内 男性1名(第19週)、男性1名
- 塩釜管内 男性2名、女性1名
- 大崎管内 男性1名、女性1名
- 気仙沼管内 男性1名(第27週)
- 仙台管内 男性1名、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O26)

- 登米管内 女性3名
- 腸管出血性大腸菌感染症(O103)
- 登米管内 女性1名、女児1名※(第27週)
- 腸管出血性大腸菌感染症(O124)
- 塩釜管内 女性1名
- 腸管出血性大腸菌感染症(O55)
- 大崎管内 女性1名

4類感染症: レジオネラ症

- 塩釜管内 女性1名
- 大崎管内 男性1名
- 仙南管内 男性2名
- 仙台管内 男性2名

5類感染症: ウイルス性肝炎

- 大崎管内 女性1名
- カルバペネム耐性腸内細菌感染症(*Enterobacter aerogenes*)
- 塩釜管内 男性2名
- 後天性免疫不全症候群
- 仙台管内 男性2名

※女児は6歳未満

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

石巻管内で警報継続中

[流行性耳下腺炎]

仙南管内で注意報値を超えた

## 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

病原体の検出なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定		
	第25週採取分 (6.20～6.26)	中間報告 第26週採取分 (6.27～7.3)	報告 第27週採取分 (6.7.4～7.10)
インフルエンザウイルスB型(ヒ7リア系統)	1件	0件	0件
ヒトメタニューモウイルス	1件	3件	0件
アデノウイルス	1件	0件	0件
エンテロウイルス	0件	0件	1件
ライノウイルス	3件	0件	0件
サイトメガロウイルス	1件	1件	2件
パラインフルエンザウイルス1型	2件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	5件	5件	6件

※「パラインフルエンザウイルス1型および3型」が継続して分離されています。

## 4. 今週のコメント

### 【腸管出血性大腸菌感染症】

県内では今週7例の患者報告があり、夏季の流行期に入ったと考えられます。主症状は腹痛や下痢ですが、小児や高齢者などの抵抗力が落ちている人が感染すると重症化することがあるため、注意が必要です。加熱不足の食肉からの感染の他、ヒト-ヒト感染も多くみられます。気温の高い季節になりますので、食品の取り扱いに注意するとともに、手洗いの励行などの予防対策にも留意願います。

### 【レジオネラ症】

今週、県内で6例の報告があり、今年1月からの合計がすでに19例となり、前年同時期と比べ多い状況となっています。通常、高熱が主症状ですが、肺炎を引き起こし重篤化することもあります。原因菌のレジオネラ属菌は自然界に広く存在する菌ですが、抵抗力の低下した中高年男性が多いと言われていました。天候の変わりやすい季節です。免疫力を落とさないよう、感染予防のためにも日頃よりの体調管理に注意が必要です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

